

7日目 7月20日

会 場： 松江市営野球場

第2試合	～3回戦～ (7回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
松江工業	0	0	0	0	0	3	0									3	4	1		
松江商業	1	8	0	0	0	2	X									11	13	1		
(投手-捕手)																				
・ (松工)	後藤→石倉翔 - 宮廻																			
・ (松商)	野間→角浦→井上 - 木幡流																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (松工)	枝木												青木							
・ (松商)	吉田、村竹、木幡流						村竹						平井、米原							
(審判) [球審]	藤原周			[一塁] 宮森謙			[二塁] 三宅			[三塁] 藤原大										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(松工)	26	4	3	1	0	1	12	2	0	1	2	3			1	0	0	0		0
(松商)	34	13	9	3	0	2	3	4	3	1	5	0			1	1	0	0		0

「松江商業、2回の集中打で準々決勝進出！」

大会7日目松江会場の第2試合は松江工業と松江商業の対戦となった。松江商業の先発、野間は初戦で石見智翠館を破る原動力となっており、この試合の投球も注目された。

試合は松江商業の猛攻で幕を開けた。1回裏、松江商業は四球と安打などで1死満塁とし、5番米原がライトへ犠牲フライを放ち先制する。2回裏、松江商業は、9番土井、2番吉田、3番野間、7番村竹、8番木幡流の適時打など計7安打をこの回に集中させて一気に8得点を挙げた。

その後は試合が落ち着き得点の動かない展開が続いた中迎えた6回表、松江工業は相手失策と四球で2死1・2塁とし、4番青木が左中間スタンドに飛び込む3点本塁打で反撃する。しかし、直後の6回裏、松江商業の4番平井が2試合連続となる本塁打をレフトへ放つと、続く5番米原もレフト線際に飛び込む本塁打を放ち、2者連続本塁打で7点差をつけた。7回表の松江工業の攻撃を無失点に抑え、7回コールドで準々決勝進出を決めた。松江商業の注目投手、野間は3回を投げ打者11人に対し8奪三振の好投を見せた。

